

横浜市福祉サービス第三者評価結果報告書

2015年12月21日

ココファン・ナーサリー日吉本町 様

〒 131-0032

所在地 東京都墨田区東向島6-37-4-1002

評価機関名 一般社団法人アクティブ ケア アンド サポート

指定評価機関番号 第11号

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

事業所名	株式会社学研ココファン・ナーサリー ココファン・ナーサリー日吉本町
報告書作成日	2015年11月27日 (評価に要した期間5か月)
評価機関	一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート
評価調査員	(神機構-623、横浜市-275)
評価調査員	(神機構-632、横浜市-339)
評価調査員	(神機構-、横浜市-)

評価方法

自己評価方法 (実施期間:2015年7月15日~2015年10月9日)	評価機関が提供した手引きを参照しながら、園長が作成し、合議の上、自己評価をまとめた。
評価調査員による評価方法 (実施期間:2015年9月25日~2015年11月27日)	事前訪問、提出書類、家族アンケート結果並びに訪問調査の結果に基づいて評価調査員が合議し評価結果をまとめ、評価委員会で決定した。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間:2015年9月25日~2015年10月9日)	保育園から家族へアンケート調査票を配布してもらい、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収した(72世帯中57世帯、回収率79%)。
利用者本人調査方法 (実施期間:2015年11月10日~2015年11月11日)	訪問調査において、評価調査員が分担してこどもの遊びや生活の様子を観察し、必要に応じ職員や子どもに質問した。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書のうち、

- 横浜市が定める部分を公表することに同意します。
- 別添えの理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添えの理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

全体の評価講評

保育園の概要

保育園は、株式会社学研ココファン・ナーサリーが運営する神奈川県内で最初の認可保育園として、2012年4月に開園しました。横浜市営地下鉄グリーンライン・日吉本町駅から徒歩7分、東急東横線日吉駅から徒歩14分くらいの静かな住宅地の中にあります。定員は90名で、2015年11月現在、89名が在籍しています。一人一人の育ちのチカラを伸ばす保育、高齢者との交流を通じ、感謝の気持ちや他人を思いやる寛容な気持ちを育む保育を特徴としています。

特に良いと思われる点

食育に力を入れ、食事を豊かに楽しむ工夫をしています

食育目標に、0、1、2歳児は「給食を通して、食材に興味関心を持ち食べる意欲を育てる」、3、4、5歳児は「栽培や調理、栄養学など様々な体験を通して食に興味を持ち、食べ物の大切さを学ぶ」を掲げ、発達に応じて様々な食育に取り組んでいます。栽培し、収穫して食べる取り組み、食べる楽しみを知る弁当給食、季節や行事を意識した茶会、栄養学習、マナーの体験などです。訪問調査の日、2歳児の給食時、子どもが献立名を知り、食材に興味を持って楽しく食べている様子を観ることができました。3歳児の部屋に、枝豆などの栽培記録の掲示があり、栽培、観察、収穫、そしておいしく食べた様子を確認できました。

「みんなのとしょかん」で絵本を借りることができ、喜ばれています

園内に、「みんなのとしょかん」コーナーを設けています。「みんなのとしょかんをつかうときのおやくそく」が掲示され、このルールを守って利用しています。貸し出しも可能で、家でゆっくり、家族と一緒に読むこともできます。蔵書は約250冊で、クラスに置いている本だけでなく、本に親しむ機会が増えています。本年度8月から、港北区の「絵本の図書館」実施園として、地域の人々にも貸し出しを始めました。水曜日が貸出日で、見学者も含め来園者が少しずつ増えています。「みんなのとしょかん」は、地域の人々に読まなくなった絵本を持ってきてもらったり、貸し出ししたりしているほか、港北図書館に設けられたリユース文庫へ提供することによって本のリサイクルに協力しています。

地域コミュニティにおける多世代交流を推進しています

地域の子育て家庭に向けて、育児セミナー「子どもの社会性をはぐくむ」を大学の先生を招き開催しました。運営会社の保育園園児と高齢者向け住宅に住んでいる高齢者との交流を通して、子どもの包括的な社会性がいかに向上するかを検証する多世代交流プログラムの一環で、地域コミュニティにおける多世代交流を推進することを目的としています。今後、プログラムの成果物を通して、多世代交流の園児への影響が明らかになり、保育園の運営や保育の実践に生かすことが期待されています。

さらなる改善が望まれる点

送迎時の子どもの様子の説明に、保護者のニーズに応えるきめ細かな配慮が期待されます

保護者から相談が寄せられた時、事務室やフリー保育室、時間帯によってはクラスで聞いています。保護者のプライバシーに配慮し、場所を選んでいます。定期的(6月に全員、2月に0、1歳)に個人面談を行っているほか、希望により随時受けています。個人面談は、クラス担任が対応し、事前に質問や意見を書面で提出してもらっています。主任や園長と相談したうえで、保護者へ回答しています。相談や個人面談の記録をとり、必要な対応を行っています。今回の利用者家族調査の結果、「送迎時の子どもの様子に関する情報交換について」に保護者の一部が改善を求めていることがうかがえます。例えば、その日の子どものエピソードを交えるなど保護者のニーズに応えるきめ細かな配慮が期待されます。

不審者対策について、さらなる検討と取り組みが期待されます

通常、出入り口は施錠し、暗証番号を入力して解除することができます。暗証番号は定期的に変更し、保護者に伝えています。「危機管理マニュアル」を備えているとともに、不審者を発見した場合の緊急通報体制を確立しています。行政や近隣の保育園、日吉本町地域ケアプラザなどと連携し、不審者情報を得られるようになっています。朝の登園時間帯は、「おじいちゃん先生」(シルバー人材センターから派遣)が子どもを迎えています。夕方の降園時には配置していません。今回の利用者家族調査の結果、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」にいくつかの意見がありました。今後、こうした保護者の意向を踏まえ、さらなる検討と取り組みが期待されます。

ベテラン保育士を計画的に育成することが期待されます

開園してから4年目を迎え、当初新人で入った職員も経験を積み成長してきました。今回の利用者家族調査の結果には、「もっとも細かい所まで目が届いてほしい。アレルギー誤食などの緊急時の対応に疑問を感じる。」などの保護者の意見が見られ、保護者の要望に応えきれていないことがうかがえます。ベテラン保育士の育成が課題として認識しています。保育経験を積み重ね、保護者との優れたコミュニケーション能力を有するなど一般職員を越えた力量を持つことが求められます。主任・リーダー研修やコーチ研修といった充実した研修体系を活用し、ベテラン保育士を計画的に育成することが期待されます。

横浜市福祉サービス第三者評価 分類別結果

評価領域 I 利用者(子ども本人)の尊重

評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成

評価項目 I-1-(1)

保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのとなっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員が基本方針を理解している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスの実施内容は、保育の基本方針に沿っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-1-(2)

保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程の作成にあたっては、全職員が関わっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、入園時や年度当初には必ず保護者に説明している。また、改定した時には随時保護者に説明している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-1-(3)

日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育計画に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理解できる子どもには、必要なことをきちんと説明し、納得できることを大切にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 態度・表情などから子どもの意思を汲み取り、言語化できる子どもからは意見・要望を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの意見・意思を指導計画の見直しに活かし、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっており、計画には柔軟性を持たせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類 I-1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
保育理念や基本方針は子どもと家庭を尊重したのになっています 保育理念には「子どもの養育と教育を両輪とした、子ども全体の育ちの支援を行う。子どもの発達に応じた個別の支援を行う。」また、基本方針には「家庭との連携を大切にし、子どもが本来持っている『育ちのチカラ』を伸ばし、子どもの主体的な活動を援助する・・・」と謳っています。運営会社で統一した保育の理念、保育の基本方針を掲げており、職員採用の際から、その理念・方針の共有が前提となっています。園内にも掲示、年2回の期待役割面談でも確認しています。サービスの実施内容も、基本方針に沿っています。	
保育課程は保育理念や基本方針に基づき作成され、一貫性のあるものとなっています 保育課程は保育理念や基本方針に基づき、まず、園長、主任、乳児担当リーダー、幼児担当リーダーで作成し、職員全員が確認作業を行って完成させています。保育課程は、運営会社独自の方法論「学研アプローチ」を基本にA3用紙1枚にまとめられています。保育の目標、ねらい、内容が各年齢を通して一貫性のあるものであることを理解しやすくなっています。保護者へは、年度初めの保護者会で保育課程を配布し、説明しています。4月の園便りでも、園や各クラスの保育目標をお知らせし、関心や理解を深めています。	
子どもの思いを汲み取る関わり方を意識し、思いや意見が指導計画に反映できるようにしています 保育課程に基づき、子どもの年齢や発達に応じた年間指導計画、月間指導計画、週案、日案を作成しています。子どもの顔を見て、目線を合わせて話をするなど、個々の思いをくみ取れるような関わり方を意識することを職員間で確認し合っています。大勢と一緒に話さず一人一人話すことの大切さなど、伝える力、表現する力が身に付けられるような保育も取り入れています。日々の活動や行事で、子どもの発想や提案を取り入れる姿勢があり、さらに発展させられるよう計画には柔軟性を持たせています。	

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価項目 I-2-(1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に面接している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの様子をよく観察している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園までの生育歴や家庭での状況を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 面接時に把握された記録は、日々の保育に活かされている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-(2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮保育(ならし保育)が必要な場合は保護者への説明を十分している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 0、1歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが心理的拠り所とする物の持ち込みができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性の視点から、保護者へのていねいな連絡をノートでしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 在園児への配慮がなされている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-(3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、保護者の意向も反映している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-2 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>入園前に面談を行い、子どもの生育歴や家庭状況など把握しています</p> <p>入園前面談は、担任予定の保育士が行います。提出された児童票、生活状況票、健康診断書などに記載された家庭の状況、子どもの生育歴や生活習慣、嗜好、健康状態等を確認し、新たに聞き取ったことを書き加えています。保護者と一緒にいる子どもの様子や保護者の対応等は、別の保育士や看護師などが観察し記録します。面談時把握した情報は、その後の保育に活かしています。配慮すべきことや保育環境などの改善が必要であれば全職員に会議などで伝え、統一性を持って保育を行っています。</p>	
<p>子どもの生活が家庭と保育所で無理なく引き継がれるよう配慮しています</p> <p>入園希望見学、入園説明会などで無理なく集団生活に入るための配慮として、ならし保育があることを説明しています。入園決定後、個別に面談を行ったり、入園後も子どもの様子を見ながら保護者と相談し、ならし保育を設定しています。全クラス担任制をとっており、0、1歳は保育補助も同一の職員が担当しています。子どもが拠り所とする物の持ち込みは、園側から提案する場合があります。連絡帳で、日々の保育中のエピソード、発見したこと、配慮すべき事、心身の変化、配慮したことなどを伝えています。</p>	  
<p>指導計画は年齢、月齢に合わせ作成し、反省評価を行って見直しています</p> <p>年齢、月齢に合わせ、子どもの実態を把握し、理解したうえで指導計画を作成しています。0、1、2歳児は複数担任で意見交換を行って作成、3、4、5歳児は、担任が主任のアドバイスを得ながら作成し、最終的に、主任、園長が確認しています。子どもの姿や保育を振り返り評価し、見直しています。トイレトレーニングその他個別対応については、送迎時や個人面談で保護者の意向を確認し、指導計画に反映させています。行事の後に行うアンケートの結果も指導計画に反映させています。</p>	

評価分類 I-3 快適な施設環境の確保

評価項目 I-3-(1)

子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通風・換気等が確保され、気になる臭いを取り除く工夫をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 陽光を十分取り入れるよう配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 音楽や保育者の声などが騒音にならないよう、配慮している。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-3-(2)

沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴設備がある(ただし、0歳児保育実施施設)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 温水シャワーの設備がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴・温水シャワー等の設備の管理や清掃が十分に行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-3-(3)

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 低年齢児には、小集団保育が行われるよう、保育室の使い方を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる・寝るなどの機能別の空間を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 屋内に異年齢児間の交流の場がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-3 評価の理由(コメント)

評価
中央に広いホールがあり、吹き抜けになって、清潔で快適な環境です
園内は中央に広いホールがあり、吹き抜けになって採光も通風もよく、清潔で快適な環境が保たれています。昨年の夏、園全体に消臭抗菌塗装を行いました。清掃については、当番を決め、各箇所にチェックシートを用意して清掃漏れを防いでいます。園庭掃除、枝切りなど、シルバー人材センターを利用し、安全と清潔を保っています。保育士の声などについては「保育中の注意事項」に記載されて、研修も行っています。不必要に大きな声で子どもに話しかけないよう、日ごろから気をつけています。
室内に沐浴設備や温水シャワー、園庭にも温水シャワーを設け、子どもの身体の清潔を保っています
0歳児室に隣接して沐浴設備、1歳児室と2歳児室の間に、温水シャワーの設備があり、おむつかぶれの予防、下痢、おもらしたときなどに利用しています。設備の近くに「表示確認、手で確認」と掲示し、湯の温度に注意を払っています。清掃は、毎日行い、清潔を保っています。園庭の水道設備にも温水シャワーがあり、外遊び、水遊びをした際に利用しています。
仕切りや机、カラーテープなどを利用し、子どもの発達や活動に応じた空間を確保しています
部屋は、年齢ごとに分かれており、ゆとりのある広さになっています。間仕切り、机、床にカラーのテープを貼るなど空間を分け、各年齢で、活動に応じた環境を作る工夫をしています。0、1歳児の部屋では、牛乳パックで作った保育士お手製の仕切りやフロアマットを利用し、温かな雰囲気の中、興味を持った好きな遊びができる空間を作っています。食事と午睡は空間を分けています。各部屋は園内中央のホールに面しており、子どもが交流しやすい設計になっています。ドアのガラス越しにホールの様子を見ることができます。



評価分類 I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力

評価項目 I-4-(1)

子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合った個別指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 3歳未満児については、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の目標・計画は定期的(月1回を目安)に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-4-(2)

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや家庭の個別の状況・要望を決められた書式に記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園後の子どもの成長発達記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの記録内容は全職員が共有できるしくみになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な申し送り事項が記録され、進級時等に伝達されている。	
B	保育所児童保育要録を小学校に送付している。その上で、Aの中で2つ以上に該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する。または、該当しない。	

評価分類 I-4 評価の理由(コメント)		評価
<p>3歳未満児は、個別に月案を作成し、子どもの発達状況の変化に応じて変更や見直しを行います</p> <p>3歳未満児は、一人一人の生育歴、発達状況に応じて個別に月案を作成し、乳児児童票、面談記録とともに個人ファイルに保管しています。子どもの発達を的確に捉え、目標に対して計画が妥当であったかを評価し、子どもの発達や家庭状況の変化に応じて変更や見直しを行います。クラス担任が主となり変更や見直しを行います。事前に主任、園長に相談します。発達の様子などから配慮や見直しが必要と考えられる場合、保護者から家庭での様子を伺ったうえで、配慮や見直しについて保護者に説明し同意を得ています。</p>		  
<p>子ども一人一人の記録があり、子どもに関わる職員が必要とき見ることができます</p> <p>住所や家庭の状況などを記載した児童票、子どもの生育歴や生活習慣・嗜好などを記載した生活状況票、入園以降の子どもの成長発達を記載した経過記録、健康診断票、個人面談記録など子ども一人一人の記録があります。事務室に保管されており、子どもに関わる職員がいつでも見ることができます。ミーティングや職員会議で共有することもあります。進級時は、新旧のクラス担任、主任、園長で、子どもの個人記録を見ながら申し送りをしています。</p>		

評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価項目 I-5-(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別のケースについて会議で話し合わせ、記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最新の情報を職員間で学習し、保育に活かしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされている。	
B	特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がある。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-5-(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> バリアフリーなど、障害児保育のための環境整備に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の同意を得て、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっている。	
	<input type="checkbox"/> 障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができています。	
<input type="checkbox"/> 障害児と障害のない子どもとの関わりに配慮をしている。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(3) ※旧 II-3-(4)から移動

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 疑わしい場合や見守りが必要な場合は関係機関との連携をとっている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(4)

アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にし、 除去食 を提供している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 除去食 を提供する場合は、誤食事故を防止するため専用トレイや専用食器、名札等を使用している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(5)

外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮している。	
<input type="checkbox"/> 意思疎通が困難な場合の対応策がある。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-5 評価の理由(コメント)	評価
<p>障害のある子どもや帰国子女などの受け入れに備え、準備を進めています</p> <p>開園4年目ですが、障害のある子ども、外国籍や帰国子女など文化の異なる子どもが在籍したことはありません。文化や生活習慣などの違いを理解するため、絵本を読んだり、行事や遊びを取り入れています。3、4、5歳児は英語を楽しむ時間を設けています。トイレ、玄関、室内の出入り口はバリアフリーとなっており、門から玄関まで手すりをつけています。発達障害に関する研修に参加し、他の職員に対して振り返りを兼ねた研修を行い、共有しています。嘱託医及び自治体と連携して、助言や情報を得る体制にはなっています。</p>	
<p>虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけています</p> <p>人権に配慮した保育、虐待について、早期発見のポイント、早期発見通告の義務などが記載された「人権・虐待マニュアル」があり、園内研修を実施しています。外部研修も受講し周知を図っています。虐待が明白になった場合関係機関に通告・相談する体制が整えられており、事務室に掲示してあります。日々の保育の中では視診をしっかり行い、子どもの変化や異常を見逃さないように観察して、早期発見に努めています。</p>	  
<p>アレルギー疾患のある子どもへは、記名した専用トレーを使用、さらに三重の確認を行っています</p> <p>かかりつけ医が記載した「アレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらいます。アレルギーの対応など、子どもに応じた配慮をするため、保護者面談の内容を会議で話し合っています。保護者に献立を先渡しし、チェックを入れて戻してもらいます。保護者とは毎回口頭でのやり取りを行い確認しています。除去食を提供する際、専用トレーに記名、まず、調理師同士が確認、栄養士から担任に渡す時2回目の確認、最後に保育室で声掛けし他の職員が目視確認、初めてラップを外しています。</p>	

評価分類 I-6 苦情解決体制

評価項目 I-6-(1)

保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員に、直接苦情を申し立てることができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、意見箱・懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して具体的な配慮がなされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 権利擁護機関など他機関の苦情解決窓口を紹介している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望・苦情を受け付ける担当者が決まっており、事前に保護者に説明されている。	
C	要望・苦情の受付窓口が明確にされていないなど、取り組みが不十分である。	

評価項目 I-6-(2)

要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員を交えて対応する仕組みができています。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がとられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情の解決策が会議等を通じて職員に理解・周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、解決に活かしている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情を受け付け対応するためのマニュアル等文書化されたものが整備されている。	
C	マニュアル等文書化されたものが整備されておらず取り組みが不十分である。	

評価分類 I-6 評価の理由(コメント)		評価
<p>保護者がサービスについての要望や苦情を申し立てできる体制となっています</p> <p>保護者が直接、第三者委員に申し立てできることは重要事項説明書に明示しており、保護者説明会でも説明しています。また本社・園に対し直接電話することやメールのやり取りができることも伝えられています。さらに神奈川県社会福祉協議会に設置されている運営適正化委員会に申し立てができることも説明しています。保護者からの要望についてはアンケートや園内に意見箱を設置して、直接意見を表明することが困難な保護者にも配慮しています。</p>		  
<p>要望や苦情を受けて迅速に対応できる体制になっています</p> <p>苦情や要望を受けた場合は保護者の代表4名、本社から2名、外部の第三者委員、園長で構成された運営委員会において、意見交換し解決を図っています。苦情解決マニュアルを整備し、外部の相談機関と連携を図っています。保護者からの苦情や要望は、毎週のミーティングや職員会議を通して、職員全員に周知し共有化を図っています。過去の苦情やトラブル、要望のデータは整理し、日常のトラブル等の解決に生かしています。</p>		

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類Ⅱ-1 保育内容

[遊び]

評価項目Ⅱ-1-1(1)

子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分の好きなことをして遊び込める時間が十分に確保されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ自由にぐっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じて取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由遊びの中で一人ひとりが興味・関心を持って遊べるよう、保育士が援助している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自発的に表現するよう様々な素材を用意するなど、自由に使えるよう配慮されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(5)

遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 発達段階に応じて、運動能力を高められるような遊びの環境を意識してつくっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの既往歴や健康状態に合わせた遊びを工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-1〔遊び〕評価の理由(コメント)	評価
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-(1)</p> <p>子どもがおもちゃを自由に取り出して遊び、片付けしやすい環境をつくっています</p>	
<p>子どもが自由に取り出せる高さの棚に年齢にふさわしいおもちゃや教材が収納されています。それぞれの棚には、写真が貼られていて、自然に元に戻す習慣ができています。一見するとおもちゃの数は多いとは言えませんが、保育士が子どもの発達や興味、関心の状態を見て、細やかな配慮のもと、おもちゃの入れ替えを行っている結果です。子どもがじっくり遊びこめる環境を作っています。乳児の部屋では、手作りのおもちゃが多く、子どもが繰り返し繰り返し遊んでいる様子が見られました。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-(2)</p>	
<p>自由な発想で遊びを発展させたり、好きな遊びに夢中になっています</p>	
<p>運動会の練習、本番でみんなで力を合わせ一つのことを成し遂げた達成感を味わったようです。その後、運動会をごっこ遊びに展開させ、それぞれ楽しんでます。鬼ごっこで、保育士がしっぽ取りを提案すると、子どもは自分たちで次々にルールを作って遊びを発展させました。自由遊びの中で、楽しそうに、ブロックで家や車を作ったり、アイロンビーズで花を作ったり、パズルや塗り絵をしたり、おままごとをしていました。おままごとに加われずに見ている子どもがいると保育士が声かけをして、そのうちに一緒に遊び始めました。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-(3)</p>	
<p>植物の育ちに関心を持ち、収穫し食べることを楽しんでいます</p>	
<p>テラスや園庭で、ヒマワリ、エダマメ、ミニトマト、サツマイモなどを栽培し、生長の様子を写真に撮り、クラスに掲示しました。植物の育ちに関心を持ち、収穫し食べることを楽しんでいます。卒園式に飾るチューリップなどの球根を植え、芽が出るのを楽しみにしています。散歩に出かけたり、高齢者施設を訪問した際も、積極的に挨拶を交わしています。地域の方ともコミュニケーションがとれており良い関係が築かれています。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-(4)</p>	
<p>自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮しています</p>	
<p>乳児は保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて身体を動かしています。幼児は、タンバリンや鈴、カスタネットなどを使って楽しんだり、一緒に歌ったりしています。散歩で持ち帰った落ち葉や木の実、廃材などを使って制作に取り組んでいます。いずれも子どもたちは、のびのびと気持ちを表現しています。自由に使えるように、クレヨン、のり、ハサミ、マーカー、色鉛筆、自由画帳などは個人所有として、必要なものは数をそろえるようにしています。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-(5)</p>	
<p>異年齢交流を多く取り入れており、職員は子ども目線に立った公平な対応を心がけています</p>	
<p>行事、朝の会、散歩やホールでの遊び、共同制作など、異年齢の子ども同士が関わる機会を多く持っており、園全体が兄弟姉妹の雰囲気があります。保育時の注意事項などをまとめた「保育士ハンドブック」を整備し、園内研修を行うなどして、子どもの目線にたった公平な対応ができるよう努めています。子ども同士のけんかについては、見守りながら子ども同士で解決できるように配慮しつつ、子ども自身に考える力がつくよう援助しています。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-(6)</p>	
<p>散歩や運動遊びなどで体力作りをしています</p>	
<p>歩くことを体力作りの一環として捉え、散歩を大切にしています。散歩コースに、トンネルのすべり台がある公園、ブランコのある公園、虫とりや花摘みのできる公園、広いグラウンドの公園、桜の木やアスレチックのある公園、ドングリのある公園など12の公園があり、年齢や体力、目的を考え、コースや距離を工夫しています。運動遊びは器具を使用したり、リズム遊びをしています。体力作りに取り組んでいますが、今回の利用者家族調査の結果、「戸外遊び」について不満を感じている保護者がいることがうかがえました。保護者に戸外遊びの様子を伝えたり、登園後の園庭遊びを取り入れるなど、さらなる工夫が望まれます。</p>	

[生活]

評価項目Ⅱ-1-(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳児の授乳にあたっては、ほしがるときに、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 授乳する時や離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが食事及びその過程(調理・配膳・片づけ)に関心を持つよう工夫している。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。対象乳児がない場合は2つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。対象乳児がない場合は、全くおこなっていない。	

評価項目Ⅱ-1-(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食材や食器の安全性に配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-(10)

子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的にレシピを提示し、保護者に園で提供する食事に対する関心を促している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方(噛み方)等、園で配慮していることを知らせている。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(11)

午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている	
<input checked="" type="checkbox"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(12)

排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレトレーニングは一人ひとりの発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> おもらしをした子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、全職員が認識している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
評価分類Ⅱ-1 [生活] 評価の理由(コメント)		評価
評価項目Ⅱ-1-(7)		
<p>子どもの食べる意欲を大切にして言葉かけや支援を行い、楽しい食事にしています</p> <p>必要な栄養量を考慮したうえで、食べられる量、食べやすい大きさ、形状に配慮して盛りつけています。乳児の授乳については欲しがるときに与えています。授乳時間を希望する保護者とは話し合いながら進めています。4歳児は配膳台から自分で運び、5歳児はご飯も自分たちでついでいます。保育士は「おいしいね」「ひと口食べてみようか」など、食事を楽しんだり、食べる意欲が湧いてくるような声掛けをしています。「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつ、口拭き、下膳もきちんとできています。</p>		
評価項目Ⅱ-1-(8)		
<p>食材と食器の安全性、食事の場の雰囲気作りに配慮しています</p> <p>食材は地域の信頼できる業者から毎朝新鮮なものを購入し、食器は、運営本部が指定する業者から安全なものを購入しています。食事の場は、食事のペースに合わせてグループ分けし、各テーブルに職員が一人つくなど、楽しい雰囲気で作ることができるよう配慮しています。テラスやホールなどで雰囲気を変えて食事を楽しむこともあります。行事食として、8月はひまわりに見立てたハンバーグ、10月はチキンライスお化けなど季節ならではの献立を提供し、子どもを楽しませています。</p>		
評価項目Ⅱ-1-(9)		
<p>子どもの喫食状況を把握し、献立の作成・調理の工夫に活かしています</p> <p>子どもの好き嫌いは、嗜好調査を行い把握しています。結果は保護者にも報告しています。栄養士や調理担当者は、新しいメニューの日を中心に、子どもの食事の様子を観察します。乳児については、発達が早いので週に1回は観察するようにしています。食べたくないと思ったら食べがちなので、そういった様子を観察します。残食状態を調べて、給食日誌に記録、その後の献立、調理の工夫に反映させています。</p>		
評価項目Ⅱ-1-(10)		
<p>「きゅうしょくしつだより」を発行、試食会を実施するなど家庭と連携しています</p> <p>献立は、運営本部からの統一献立をもとに、園の献立表を作成しています。離乳食とアレルギーの献立は分けて別に作り、早めに配布しています。毎月、「きゅうしょくしつだより」を発行しています。栄養バランスを考えた献立を作っており、献立作成のポイントは献立表で確認できるようになっています。季節のレシピや簡単なレシピが、見本展示食の傍らに置いてあります。試食会は6月に設けられており、希望があれば随時受け付けています。</p>		
評価項目Ⅱ-1-(11)		
<p>眠れない子どもや眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに遊べる環境を作っています</p> <p>眠れない子どもや眠くない子どもは、静かに遊べる環境を作っています。ホールで静かに遊ばせることもあります。心地よく眠れるように、温度、湿度、照明など調整します。寝付けない子どもには、読み聞かせや音楽で落ち着かせたり、添い寝をして安心させるなど子どもの状況に応じて工夫しています。0、1、2歳児は5分おきに、SIDSのチェックを行っています。また、うつぶせ寝をしないよう気をつけています。年長児は運動会終了後の11月から午睡が無くなります。一人一人無理のないようにしています。</p>		
評価項目Ⅱ-1-(12)		
<p>トイレトレーニングは保護者と相談しながら進めています</p> <p>トイレトレーニングは、子どもの発達状況の共通認識が必要なため、個人面談の時、保護者と相談し、家庭と連携して無理なく進めています。一人一人の排泄ペースを職員間で共有しています。保護者へは連絡帳、必要に応じて口頭で、排泄状況を丁寧に伝えていきます。おもらしをしたときは、周りに気づかれないように素早く対応し、子どもの心を傷つけないように配慮しています。使ってはいけない言葉、言ってはいけない言葉を職員間で共有し、徹底しています。</p>		



評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理

[健康管理]

評価項目Ⅱ－２－(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価
次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	食後の歯磨き指導を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－２－(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。

判断基準		評価
次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録がある。	
<input checked="" type="checkbox"/>	健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医との連携を図っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－２－(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価
Bに該当したうえで、次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	感染症に関する最新情報を職員が共有している。	
B	感染症等への対応に関するマニュアルがある。	
C	感染症等への対応に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ－２ [健康管理] 評価の理由(コメント)	評価
<p>看護師を中心に、子どもの健康管理は適切に実施されています</p> <p>重要事項説明書に子どもの健康管理について記載されており、それに基づいて健康の状態を把握し、対応しています。健康カードを利用して、保護者と緊密な連絡を取り合っています。健康カードには、予防接種、既往症などを記載してもらい、日々の健康指導のため、園で保管しています。園での子どもの健康状態は、連絡帳や口頭で保護者に伝えています。食後の歯みがき指導は、0歳児10月歯科健診後から始めており、まず、家庭で指や歯ブラシを入れる練習をお願いし、その後園でも、嫌がらない程度から始めています。</p>	
<p>健康診断・歯科健診などの結果を保護者に伝えるとともに保育に反映しています</p> <p>年2回健康診断、年1回歯科健診、蟻虫卵検査、3歳以上の尿検査、毎月1回身体測定、胸囲・頭囲測定は0歳児毎月、1歳以上年3回行っています。結果は、児童票、健康診断票、健康カードに記入し、健康カードで保護者に連絡しています。健康カードは確認印をもらって園で保管します。嘱託医とは連携を取っており、健診結果によって、また、やげがや病気の時アドバイスをしてもらっています。感染症が流行り始める時期など、情報をもらって迅速な対応をしています。</p>	
<p>感染症などの対応について保護者に説明し、徹底しています</p> <p>入園説明会、保護者会などで看護師から保護者へ説明しています。保護者へ配布されている重要事項説明書にも感染症の対応について詳細が記載されています。感染症に関する最新情報は行政や嘱託医から届くので、その日のうちに全職員に周知しています。必要な情報は玄関前など見やすい場所に掲示して、保護者全員に知らせるようにしています。保育中に発症した場合、緊急連絡先に連絡を入れます。対応について保護者から相談があった場合、柔軟に対応しています。</p>	

[衛生管理]

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、職員参加により定期的(内容により異なるが、最低年1回を目安)に見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的(採用時に1回、採用後は最低年1回)に研修を実施するなど、具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。	
B	衛生管理に関するマニュアルがある。	
C	衛生管理に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [衛生管理] 評価の理由(コメント)	評価
マニュアルがあり、衛生管理が適切に行われています	
「衛生管理・感染症マニュアル」があり、最新の知識や情報となるよう定期的に見直しを行っています。マニュアルを元に職員会議などで周知徹底しています。嘔吐処理や熱性痙攣などの対応について、看護師から研修を受けています。感染症の流行る時期、早めを実施しています。また、外部から講師を招き、手洗いや嘔吐処理など衛生研修を、職員全員が受けています。清掃などは、衛生点検票などチェックリストを作って、清潔・適切な状態が保たれるようにしています。	 

[安全管理]

評価項目Ⅱ-2-(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が救急救命法を身につけている。	
B	安全管理に関するマニュアルがあり、Aの中で3つ以上該当する。	
C	安全管理に関するマニュアルがない。または、Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止策(出入り口の施錠等)が講じられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-2 [安全管理] 評価の理由(コメント)

評価
<p>「危機管理マニュアル」を定め、事故や災害に備えた安全対策を実施しています</p> <p>マニュアルがあり、職員会議で周知徹底しています。保育室のロッカー棚の上に物を置かないなど日頃から整理整頓を心がけています。耐震マットを使用し転倒を防いでいます。乳児室の棚の角など、けがをしやすい部分はガードしています。緊急連絡体制が確立しており、ブログや緊急メール・斉配信テストを年3回実施し、緊急時に備えています。避難訓練は毎月、9月に防災訓練、他に水害・引き渡し訓練・消防士立ち合い訓練・防犯訓練も実施しています。救急救命に関する講習を受講し、園内で全職員に実習を行っています。</p>
<p>事故や怪我の発生時及び事後の対応について体制を整えています</p> <p>事故や災害の際、保護者には緊急メールで一斉配信を行うとともに、近隣のコンビニエンスストアや企業などに協力を要請しています。緊急連絡先一覧を事務所に掲示しています。各クラスに「けがをしたときの対応方法」「事故・けが報告ルート」のフローチャートを掲示し、けがや事故の発生時及び事後の対応体制を整えています。子どものけがについて、保護者に状況を報告し、日誌や事故報告書に記録しています。事故報告書に、発生原因及び状況、とった対応及び処置、保護者に引渡し時の説明、反省及び改善策を記録し、再発防止に努めています。</p>
<p>外部からの侵入に対して、不安を払しょくするさらなる対策が期待されます</p> <p>出入り口は施錠されており、自動ドアは暗証番号を入力して解除となります。暗証番号は定期的に変更し、保護者に伝えています。「危機管理マニュアル」があり、不審者を発見した場合の緊急通報体制が確立されています。行政や近隣保育所、日吉本町地域ケアプラザ、高齢者施設などと連携し、不審者の情報を得られるようになってきました。登園時間帯は、「おじいちゃん先生」(シルバー人材センターから派遣)が門に立ち、子どもを迎えています。降園時はいません。今回の利用者家族調査の結果には、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」について、いくつかの意見がありました。不安を払しょくするさらなる対策が期待されます。</p>



評価分類Ⅱ-3 人権の尊重

評価項目Ⅱ-3-(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つ該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、プライバシーを守れる場所を用意することができる。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-3-(3)

個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生含む)に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し理解を得ている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管、管理している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(4)

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 疑わしい場合にも関係機関との連携体制がとれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(5)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みをつくっている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-3 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの人格を尊重した対応をしています</p> <p>人権マニュアルにより、子どもに対する態度や言葉づかい、せかしたり強制しないように配慮し、子どもの気持ちや発言が受け入れられるようにしています。職員は常に話す時はながら話をしないようにし、子どもと目線を合わせるようにしています。子どもの喧嘩は4歳児と5歳児に多く発生しますが、4歳児については職員も一緒になって話しに入り解決を図っていますが、5歳児は最初は子ども同士を見守るようにして、保育士が徐々に周りから意見を聴くようにして介入し解決を図っています。</p>	
<p>必要に応じてプライバシーを守れる空間を確保するようにしています</p> <p>子どもによってはみんなと一緒に散歩に行きたくない日があり、職員に対しそのことを言う場合は、職員はその子どもが絵本を読みたいのか、何をしたいのかを聞くようにしています。時には事務室に来て話をして過ごすこともあります。4～5歳児になるとプライバシーを守れる場所を必要とするためトイレにはドアを付けていますが、個室を嫌がる子どももいて、安心感を与えるためにトイレの一個はドアのないものを用意しています。</p>	  
<p>個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しています</p> <p>守秘義務の意義や目的を、毎年3月に開催する全体会議で全職員に周知しています。ボランティアからは、守秘義務についての同意書を取っています。個人情報について、園長が講師になってマニュアルによる園内研修を実施しています。個人情報の取り扱いについては、保護者から個人情報承諾書や子どもの写真を外部に使う場合についてのブログ承諾書をもらっています。役割や順番、手を繋ぐ相手の決定などは自分たちで決めさせ、職員は性差についてなんら区別はしていません。</p>	

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携

評価項目Ⅱ－４－(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園時に配布する園のしおりやパンフレットなどに保育方針を明記している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラス全体の様子を伝える保護者懇談会等を実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談は記録し、継続的なフォローができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－４－(4)

保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 「園だより」など定期的に発行している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ビデオや写真などを撮って、日常の保育の様子を伝える努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(5)

保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観、懇談会等に出席できなかった保護者へのフォローを行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(6)

保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が自主的な活動をできるように場所等の提供をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。	
	<input type="checkbox"/> 保護者組織とは常にコミュニケーションをとっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-4 評価の理由(コメント)	評価
<p>保育方針や保育目標を保護者に理解してもらえるよう努力しています</p> <p>保育方針や保育目標は、入園時に配布する「重要事項説明書」やパンフレットに記載し、保護者会で説明しています。園内にも掲示しています。園だよりには、月のねらいとカリキュラムを掲載し、保護者に知らせています。保育参観日に行っている試食アンケート、年1回の子ども嗜好調査アンケート、夏祭りなどの各行事のアンケートにより、保護者の要望、意見を把握しています。11月の園便りには、10月運動会のアンケート結果の詳しい内容と、保育園の今後の取り組み姿勢を掲載していました。今回の利用者家族調査の結果では、保育目標・保育方針を知っている保護者は70%に留まりました。今後の取り組みが期待されます。</p>	
<p>相談にはいつでも応え、内容に応じてプライバシーに配慮しています</p> <p>保護者から相談があった場合、事務室、フリー保育室、時間帯によってはクラスで受けています。プライバシーに配慮し、相談者の意向を尊重して場所を選んでいきます。定期的(6月に全員、2月に0、1歳)に個人面談を行っており、希望により随時受けています。個人面談は、クラス担任が対応し、事前に質問や意見を書面で提出してもらっています。主任や園長と相談したうえで、保護者へ回答しています。相談や個人面談の記録をとり、必要な対応をしています。今回の利用者家族調査の結果には、登降園時の情報提供について一部の保護者に不満の声が見られ、今後の取り組みが期待されます。</p>	  
<p>子どもの園生活の様子を連絡帳、園だより、ブログ、ビデオなどで保護者に伝えています</p> <p>子どもの様子は、送迎時に口頭で伝えたり、連絡帳などで伝え、クラスの活動の様子はホワイトボードやブログ(週に2、3回更新)で知らせています。ブログ掲載については承諾書をもらい、ID、パスワードで管理しています。園だよりを月1回発行し、月の目標、活動予定、子どもの様子などを伝えています。4月保護者会、4月、3月クラス保護者会を実施し、園やクラスの様子などを伝えています。11月にはクラス親睦会を実施しており、その際ビデオ上映を行い、映像と音声で保育や子どもの様子を確認してもらおうこともあります。</p>	

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価項目Ⅲ－1－(1)

地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するための具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を通じて把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて関係機関や他施設との検討会・研究会を行っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ－1－(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援ニーズについて、定期的(年に1回程度)に職員間で話し合われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での子育てを支援するためのサービス(一時保育、交流保育、園庭開放等)を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を開催している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ－1 評価の理由(コメント)		評価
<p>地域の子育て支援ニーズの把握に取り組んでいます</p> <p>地域住民の施設に対する要望を把握するために、子育て支援センターに保育園のパンフレットを配布したり、地域のお祭りやいろいろな行事に参加して交流に努めています。随時、育児相談に応じたり、保護者などの見学時には離乳についての相談を多く受けています。行事に参加しやすいように年間計画を立てています。子どもと高齢者の交流を通して、子どもが情緒の安定やコミュニケーションの力をどのようにつけていくかなどを検証する多世代交流プログラムを推進しています。</p>		  
<p>地域の子育て支援ニーズに対し施設の専門性を活かしたサービスを提供しています</p> <p>地域の子育て支援に意義や重要性について、園長・主任が運営会社の会議において情報を入手し、その内容を職員会議を利用して職員へ報告し、共有化しています。夏祭りである夕涼み会や5歳児が作成した近隣商店街をイメージした作品展を開いたり、絵本の貸し出しを行う図書館「えほんとしょかん」を設け地域にも開放しています。地域の子育て家庭に向けた育児セミナー「子どもの社会性をはぐくむ」を大学の講師を招いて開催しました。</p>		

評価分類Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能

評価項目Ⅲ－２－(1)

地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

<input checked="" type="checkbox"/>		判断基準	評価
A	<input checked="" type="checkbox"/>	次の全てに該当する。	A
	<input type="checkbox"/>	情報提供や育児相談を実施している。	
	<input type="checkbox"/>	育児相談については、定期的(最低週に1回)に相談日を設けて対応している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。		
C	上記のいずれにも該当しない。		

評価項目Ⅲ－２－(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

<input checked="" type="checkbox"/>		判断基準	評価
A	<input checked="" type="checkbox"/>	次の全てに該当する。	A
	<input type="checkbox"/>	必要な関係機関・地域の団体等をリスト化する等により情報を職員が共有している。	
	<input type="checkbox"/>	関係機関との連携の担当者が決められている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。		
C	上記のいずれにも該当しない。		

評価分類Ⅲ－２ 評価の理由(コメント)		評価
<p>地域住民へ情報提供を行い、育児相談に積極的に応じています</p> <p>区役所に保育園のパンフレットを置いたり、掲示板に情報を掲示したりして情報を提供しています。年2回の子育てのイベントを開催しています。育児相談は予約制ですが、緊急の場合は随時受け付けています。相談内容の多くは、次年度入園したい保護者などの見学や離乳食などについてです。また、七夕や夏祭り、運動会、クリスマス会、発表会など各種の行事について、情報提供を行っています。外部から講師を招いて育児セミナーも開催しています。</p>		  
<p>相談内容に応じて関係機関との連携ができています</p> <p>外部の専門機関との連携は、主として園長と主任が担当しています。事故の発生や感染症の発症が起きた場合、まず園長が把握し対処しています。体調の急変や怪我、事故・災害などに備えて、各科の診療所や横浜市医療センター、消防署等の緊急連絡先一覧表を作成し、職員が見やすい事務室に掲示しています。区役所との情報交換は、来園する保健師とのやり取りが多く、園児の中に気になる子どもがいないを確認するなど連携ができています。</p>		

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価項目Ⅳ－1－(1)

保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 園の行事に地域住民を招待している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事を行うなど、地域の団体、機関と定期的(年1回以上)、計画的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域への施設開放や備品等の貸し出しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 近隣との友好的な関係を築くための取り組みを行っている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅳ－1－(2)

子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	B
A	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の文化・レクリエーション施設等を利用している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に地域の人達と接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に他の園・学校・福祉施設等との交流を図っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の行事や活動に参加できるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅳ－1 評価の理由(コメント)		評価
<p>保育園に対する理解を促進するため、行事や作品展に招待しています</p> <p>8月に行う夏祭りの夕涼み会、多世代交流プログラムの一環として行った作品展に、地域住民を招待しています。本年の作品展には近隣商店街をイメージしたものを作成していました。保育園に通っていない近隣の子どもたちとの交流として、地域子育てイベントに参加しています。市で力を入れている幼保小連携研修に参加し、小学校教育との連携を図っています。近隣中学生に職場体験の機会を提供し、友好的な関係を築いています。</p>		 
<p>地域の人々の交流を進め、保育園生活の変化や充実に取り組んでいます</p> <p>地域商店街への散歩、交番や消防署の見学を実施し、なかでも消防車やパトカーとの写真撮影は子どもたちの大きな楽しみの一つになっています。近隣の公園でのアスレチックは、保育所間の交流の場となっています。毎年7月下旬に実施している5歳児の「お泊り保育」では、最寄りの銭湯を利用し、近隣の住民と交流する機会となっています。道路を挟んだ向かい側の地区に神社があり、町内会が様々な行事を開催していることから、参加したいとの意向を伝えています。</p>		

評価分類Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供

評価項目Ⅳ-2-1)

将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園のパンフレット・広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 外部の情報提供媒体に対して園の情報を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を提供している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅳ-2-2)

利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用希望者に見学ができることを案内している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応している。	
B	園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や文書に基づいて説明している	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅳ-2 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)		評価
利用希望者などに、パンフレットや保育園開放を通して情報を提供しています		  
区の子育て支援センター「コンペイトウ」やケアプラザに、パンフレットを置いています。地域の幼稚園と保育園の情報誌に掲載しています。午前中の時間帯に地域のFM放送のインタビューに応じ、保育人材不足解消を訴えたり、保育科学生のための就活マガジンに掲載しています。七夕会や夏祭りなどに地域住民に参加を呼びかけ、保育園を開放するとともに、情報を提供しています。		
見学は利用希望者などの都合に合わせて、個別に対応しています		 
保育園の保育内容や利用条件についての問い合わせに対し、電話やメールで対応しているほか、園のホームページにQ&Aを設けています。問い合わせの多くは、入園に関することや一時保育のことです。見学の問い合わせがあった時は、受付ノートに希望者の名前や予定日を聞き取り、記入します。保育に影響が及ばない範囲で、見学の曜日や時間帯を希望者の都合に合わせて配慮するなど一人一人に対応することを基本として、案内し、説明しています。		

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ

評価項目Ⅳ－3－(1)

ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。

判断基準		評価
A	BIに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの感想や意見を園運営に反映させている。	
B	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等	
C	受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。	

評価項目Ⅳ－3－(2)

実習生の受け入れを適切に行っているか。

判断基準		評価
A	BIに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的な考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れのための担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫している。	
B	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づき実習生に対して園の方針、利用者への配慮等を十	
C	受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅳ－3 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>ボランティアの受け入れをボランティア受け入れマニュアルに基づいて実施しています</p> <p>ボランティアの受け入れは、ボランティア受け入れマニュアルに基づいて実施し、職員や利用者に対し基本的考え方や方針を同マニュアルにより説明しています。ボランティアには、受け入れに当たって保育の注意事項、保育者の心得などを説明しています。ボランティア活動の最終日に、感想や意見を記入してもらい、保育園運営に反映しています。</p>	  
<p>実習生の受け入れ態勢を整え、プログラムを作成し受け入れています</p> <p>実習生を受け入れるにあたり、職員に対し職員会議で受け入れの基本的考え方や方針を説明しています。効果的に実習を行うためプログラムを作成しますが、学校からの方針が示されることが多く、例えば、実習生に責任感を持たせるようにとか、実習生の意向に沿ったプログラムにしてほしいと示されることがあり、尊重しています。本年は、独自の取り組みである多世代交流事業に関わり、子ども引率と高齢者と交流する子どもの様子の観察などを実習しました。</p>	

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類 V-1 職員の人材育成

評価項目 V-1-(1)

保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 園運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の理念・方針をふまえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、達成度の評価が行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 V-1-(2)

職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 内部研修が定期的実施され、職員・非常勤職員とも必要な職員が必ず受講できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外の研修会、大会等への参加、他の福祉施設での実地研修等が積極的に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を職場で活かすための工夫がされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を評価して、研修内容を常に見直している。	
B	職員の研修ニーズにも配慮し、研修担当者が研修計画を作成している。	
C	園としての研修計画を作成しておらず、取り組みが不十分である。	

評価項目 V-1-(3)

非常勤職員等にも日常の指導を行っているか

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなどの配慮をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員に対し、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員の指導担当者が定められ職員間のコミュニケーションが図られている。	
B	非常勤職員にも業務マニュアルが配布されている。	
C	業務マニュアルもなく、取り組みが不十分である。	

評価分類 V-1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>運営会社が職員の採用と人材育成の仕組みを整えています</p> <p>パート職員の採用は、保育園で面接を行い採用しています。新卒や常勤職員は運営会社が採用しています。職員は、通園の都合や本人の希望などを考慮していることから、開園以来勤務している職員が多くなっています。人材育成計画は、運営会社が策定し、初任者研修を始め、階層別研修、コーチ研修などを実施しています。職員の資質向上のため、毎年目標を定め、半期ごとに自己評価と会社が求める期待役割評価を行っています。</p>	  
<p>職員・非常勤職員の研修体制を充実させています</p> <p>新入職員にとって、初任者研修は社長の話を聞く貴重な機会となっています。すべての新入職員が受講しています。定期的実施する研修として、初任者研修を始め、階層別研修、衛生研修、安全(危機管理)研修、救急救命研修、支援の必要な子どもの研修などがあり、保育士、看護師、栄養士など全員が受講対象となっています。保育の実践的な研修を受講した後、保育園において振り返り報告を行い、職員会議などで話し合い、保育現場で使えるもの、例えば、おもちゃ遊びなどは直ぐ活用しています。</p>	
<p>非常勤職員の力量を生かすため、バランスの取れた職員配置に努めています</p> <p>保育に関わるスキルが高く、経験豊富な非常勤職員の力量を生かすため、年齢や経験年数、勤務時間などに配慮しながら、バランスの取れた組み合わせで職員を配置しています。毎月、非常勤職員だけの会議を開き、クラスや子どもの様子を伝え、共有しています。園長にとっても、様々な課題に気付く場ともなっています。非常勤職員の指導担当は、園長・主任と決められており、クラス会議などで意見交換を行い、職員間のコミュニケーションを強めています。</p>	

評価分類V-2 職員の技術の向上

評価項目V-2-(1)

職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の振り返りや、保育所の自己評価を計画的に行う仕組みを持っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層のサービス向上を目指した会議・勉強会が開かれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(2) ※新規項目

保育士等が保育や業務の計画および記録を通してみづいからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が、自己の実践の振り返りをし、文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、計画で意図した保育のねらいと関連づけて行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを重視して行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が振り返りを通して自己の実践を評価し、改善やその後の計画作成に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(3) ※新規項目

保育士等の自己評価を踏まえ、保育園としての自己評価を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果を互いに報告し合い、話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果から、園としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価は、園の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価を公表している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類V-2 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)		評価
職員のスキルの段階を踏まえて、保育技術の向上に取り組んでいます		  
職員は、毎年2回、半期ごとに6か月間のめざす自己目標を園長と面談のうえ設定し、6か月間の実績をもとに自己評価を行っています。子どもに対するサービス向上や保護者への支援のため、会議や勉強会を随時開いています。必要に応じ外部から保育技術の評価や指導を受ける仕組みがあります。大学教授からアドバイスを受たり、保育に関する教育総合研究機関から職員が抱える課題について、課題シートへのコメントによってスーパーバイズを受たりしています。		
保育士などは、自己評価シートを使い、自らの実践を評価しています		
「自己評価シート」には、例えば、栄養士であれば、①基本姿勢として保育園の全体的な計画を理解しているかどうか、②調理業務として衛生マニュアルを理解しているかどうか、③給食管理として季節の食材を理解しているかどうかなどの項目が取り上げられています。職員一人一人が自己評価を通して、年間、月間、週案の指導計画の評価を行い、その結果をもとに次の計画を立てています。日々の保育がどのような状況にあるかを5段階評価で自分自身で数値化し、客観的に自己評価を行っています。		
職員の自己評価と併せて、保育園としての自己評価を実施しています		
園長と自己評価について話し合い、その結果をもとに、職員同士が自分の思っていることを互いに話し合う機会を設けています。職員の自己評価の結果から、より具体的な話の進展により、次年度のクラス担任の編成や必要な研修の確認を行っています。保育園としての自己評価は、保育園の理念や保育方針に合致した方法で行っています。保育園としての自己評価は、保護者がいつでも閲覧できることを保護者会などで説明しています。		

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持

評価項目V-3-(1)

本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するためのアンケートなどを実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類V-3 評価の理由(コメント)		評価
業務分担表を作成し、職員の業務を明確化しています		  
<p>職員の業務内容と分担は、業務分担表に明確化しています。職員は、園長を始め、主任や保育士、乳児リーダーなどの職種別に業務を分担しています。主任の業務は、保育運営と苦情解決の受付、保育士の業務は、クラス運営と清掃、保育補助資格者の業務は、保育補助と清掃、乳児リーダーの業務は、0、1、2歳児の保育運営となっています。職員一人一人が保育の質の向上を目指し、それぞれが目標を持って業務に取り組んでいます。</p>		
期待役割評価を行い、職員のモチベーションアップにつなげています		 
<p>園長は、職員の満足度や要望を把握するため、聞き取り調査を含め、毎年3回個別に面談しています。何か緊急に問題発生や意見があった場合はその都度話し合っ解決を図っています。職員の経験や能力、習熟度に応じた役割を期待水準として明文化し、園長が職員一人一人と期待役割評価を行い、その結果をもとに話し合うことにより職員のモチベーションを高めています。</p>		

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価項目VI-1-1(1)

事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織及び職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営、運営状況等の情報が積極的に公開されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他施設での不正、不適切な事案を題材とした研修を行い、それらの行為を行わないよう啓発している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-1-1(2)

サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 環境への考え方、取り組みが明文化され、運営に活かされている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類VI-1 評価の理由(コメント)		評価
<p>守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守を徹底しています</p> <p>保育課程に、社会的責任として、乳幼児とその保護者または地域の子育て世代の方々への子育ての支援を行い、児童福祉法や子ども子育て支援法、その他関係法令を遵守することを記載しています。これらの社会的責任について、コンプライアンスコードとして規定し、初任者研修や職員の全体会議などで周知しています。運営会社のCSRレポートやIR報告書にも公開されています。運営会社から他施設において発生した不適切な事例が周知され、保育園の課題案件として職員会議などで取り上げ、運営や保育に生かしています。</p>		 
<p>省エネルギーの促進、緑化の促進を心がけ、取り組んでいます</p> <p>保育用品や事務用品などの無駄をなくすことを常に心がけ、ゴミを出さないよう段ボールや牛乳パックなど再利用しています。例えば、牛乳パックで頑丈な踏み台や仕切り台を作成しています。電気、水道、エアコンなどの使用にも気をつけるようにハンドブックに記載しています。散歩に出かける時は、室内の照明は消しています。緑化の一環として、プールの残り水を植木や野菜、芝生などへの水やりに利用し、緑化の基準を満たしています。</p>		

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

評価項目VI-2-1)

保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を明文化したものを掲示または職員に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員に朝礼・会議等で周知し、理解を促すための説明をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を職員が理解できているか、園長・主任が定期的(採用時1回、採用後は最低年1回)に確認している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-2)

重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定にあたり、園長は保護者と継続的に意見交換をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定(変更)について、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由・経過等を十分に説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる部門の職員による検討チームを編成し組織をあげて取り組むしくみがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-3)

主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任が個々の職員の業務状況を把握できるしくみがあり、有効に機能している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員の能力や経験にあわせた確かな助言や指導を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-2 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>保育園の理念や基本方針を保育課程などに記載し、職員に徹底しています</p> <p>保育理念として、子ども主体の育ちの支援や発達に応じた個別の支援、そして地域社会のすべての子育て家庭への支援を挙げています。理念・方針を園内に掲示しているほか、研修や会議などの際、改めて職員に周知しています。職員会議などでは、全員で理念を唱和し、意識を高めるとともに、保育の質や意欲向上につなげています。期待役割評価の面談時においても、理念を確認し、初心に帰って自分を見直すきっかけになるよう指導しています。</p>	
<p>重要な意思決定を行う場合、職員と保護者へ十分に説明しています</p> <p>重要な意思決定をする場合、保護者会や運営委員会で必要な事項を説明し、意見交換をしています。保護者から意見や要望が出た時は、柔軟な対応を心がけています。保育園の利用に関わる重要事項は、重要事項説明書に記載し、入園時に説明しています。緊急に改定された場合は、運営会社に確認した後、その内容を職員と保護者へ説明しています。必要に応じてアンケートを取り、その結果を職員会議やミーティングの際説明しています。</p>	  
<p>主任がスーパーバイザーとしての役割を果たすうえで、リーダー研修が役立っています</p> <p>主任は、運営会社が開催するリーダー研修に参加し、マネジメントについて学習するなど、スーパーバイズのできる職員として計画的に育成されています。リーダー研修により、管理者としての対応や態度を学び、職員一人一人に関わることで、職員一人一人に適切な対応ができるようになっており、適切な指示や指導ができるようになってきました。保育の現場では主任はフリーの立場でクラスの運営に関わり、園長とともに園全体を把握しています。</p>	

評価分類VI-3 効率的な運営

評価項目VI-3-(1)

外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業運営に影響のある情報を収集・分析している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営面での重要な改善課題について、職員に周知し、園全体の取り組みとしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-3-(2)

保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の施設運営に備え、幹部職員は計画的に後継者を育成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-3 評価の理由(コメント)		評価
<p>外部環境の変化に対応し、理念や方針の実現に取り組んでいます</p> <p>本社の管理者会議や園長会議に参加することにより、園運営に必要な情報を収集しています。重要な情報について幹部職員や主要な職員で共有・議論するために、本部で月2回園長会議を開催しています。現在取り組んでいる多世代交流プロジェクトは、園児と高齢者の関わりが、園児の包括的な社会性の向上にどのような効果を及ぼすのか検証するものであり、重要な情報として共有、議論されています。保育面での重要な課題は課題シートにまとめ、園長会議で検討しています。</p>		  
<p>保育園運営に関する中期計画は、運営会社で策定しています</p> <p>3~5年の中長期的な事業の方向性を定めた中期計画は運営会社で作成し、保育園の運営はその計画を反映したものとなっています。次代の組織運営に備え、新たなプロジェクトを立ち上げていますが、その本部の組織変革もその一つです。目標として保育園の増加を掲げ、それに見合った本部体制の見直しを考えています。運営に関し外部からアドバイザーとして学識経験者や弁護士、会計士などの専門家よりアドバイスを得ています。今後、保育園の方向性を明確にする観点からビジョンや計画の策定の検討が期待されます。</p>		

利用者家族調査の結果

調査の概況

調査対象：2015年10月現在、在園の子どもの保護者72世帯を対象としました。

調査方法：アンケート方式

保育園から保護者に対し予め第三者評価の目的について説明し、利用者調査票（保護者用）と評価機関作成の説明書を配布しました。保護者からは記入後評価機関へ直接郵送してもらい回収しました。

利用者（保護者）総数72人、有効回答数57人、利用者総数に対する回答者割合79%。

結果の特徴

回答者の総合的な評価は、「満足」が33人（59%）、「どちらかといえば満足」が20人（36%）、合わせると95%という結果となりました。「どちらかといえば不満」は2人、「不満」は1人でした。

個別の質問に対し、問4-5「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているか」、問4-8「お子さんが給食を楽しんでいるか」、問7-2「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると98%でした。他方、問6-4「送り迎えの際、お子さんの様子に関する説明」については、「どちらかという不満」9人（16%）、「不満」4人（7%）、また、問6-13「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」は、「どちらかという不満」「不満」が5人、計10人（18%）でした。

保育園に対する意見や要望などに記述がありました。「保育士さん全員が、子どもたちを大切にしてくれている」と評価している記述に対し、「もっと外で遊ばせるよう工夫してほしい。走り回るだけでもよい。」と改善を望む記述がありました。

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか（○は1つだけ）

よく知っている	まあ知っている	どちらかともいえない	あまり知らない	まったく知らない
1	38	7	10	0
2%	68%	13%	18%	0%

「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」と答えた人のうち

1-2 その保育目標や保育方針は賛同できるか

賛同できる	まあ賛同できる	どちらかともいえない	あまり賛同できない	賛同できない
26	12	1	0	0
67%	31%	3%	0%	0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
2-1 見学の受け入れについては		26	14	0	1	16
		46%	25%	0%	2%	28%
2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	その他	開園時の入園だったので、事前の見学はしていません。入園が決まったとき、園はまだ建設中で見学ができなかった。				
		19	22	6	2	8
		33%	39%	11%	4%	14%
2-3 園の目標や方針についての説明には	その他	新設のためほとんどなかった。				
		18	32	3	0	3
		32%	57%	5%	0%	5%
	その他	新設のためほとんどなかった				

2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や 生育歴などを聞く対応については		25	21	4	1	6
		44%	37%	7%	2%	11%
	その他	新設のためほとんどなかった。				
2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には		26	24	6	0	1
		46%	42%	11%	0%	2%
	その他	新設のためほとんどなかった。				
2-6 費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)		29	20	3	4	1
		51%	35%	5%	7%	2%
	その他	新設のためほとんどなかった。				

問3 保育や行事の年間計画について

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他
3-1 年間の保育や行事のについての説明には		28	26	3	0	0
		49%	46%	5%	0%	0%
	その他					
3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活 かされているかについては		16	35	3	0	2
		29%	63%	5%	0%	4%
	その他	分からない。				

65

問4 日常の保育内容について

【遊び】について		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他
4-1 クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)		37	16	3	1	0
		65%	28%	5%	2%	0%
	その他					
4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについ ては		25	20	10	2	0
		44%	35%	18%	4%	0%
	その他					
4-3 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、 年齢にふさわしいかなど)		30	19	6	1	1
		53%	33%	11%	2%	2%
	その他					
4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外 活動については		35	17	5	0	0
		61%	30%	9%	0%	0%
	その他					

4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては		33	23	1	0	0
		58%	40%	2%	0%	0%
	その他					
4-6遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては		31	20	4	0	2
		54%	35%	7%	0%	4%
	その他	身体能力を鍛えるようなことはあまりしていないと思う。何をしているのかわからない。				
【生活】について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
4-7 給食の献立内容については		37	18	1	1	0
		65%	32%	2%	2%	0%
	その他					
4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては		40	16	1	0	0
		70%	28%	2%	0%	0%
	その他					
4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては		36	15	4	0	2
		63%	26%	7%	0%	4%
	その他	様子がよく分かりません。				
4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては		29	18	6	3	1
		51%	32%	11%	5%	2%
	その他	わからない。				
4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては		34	11	4	0	7
		61%	20%	7%	0%	13%
	その他	おむつが外れてからの入園だったので不明。				
4-12 お子さんの体調への気配りについては		34	19	4	0	0
		60%	33%	7%	0%	0%
	その他					
4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には		23	22	5	5	2
		40%	39%	9%	9%	4%
	その他	ケガをしたことがないので不明。				

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
5-1 施設設備については		36	13	7	1	0
		63%	23%	12%	2%	0%
	その他					
5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては		35	20	2	0	0
		61%	35%	4%	0%	0%
	その他					
5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については		24	22	8	2	1
		42%	39%	14%	4%	2%
	その他					
5-4 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については		34	17	6	0	0
		60%	30%	11%	0%	0%
	その他					

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
6-1 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については		25	26	3	2	1
		44%	46%	5%	4%	2%
	その他					
6-2 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については		34	19	3	1	0
		60%	33%	5%	2%	0%
	その他					
6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については		29	26	2	0	0
		51%	46%	4%	0%	0%
	その他					
6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については		22	22	9	4	0
		39%	39%	16%	7%	0%
	その他					
6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については		26	22	5	2	2
		46%	39%	9%	4%	4%
	その他	よくわかりません。				

6-6 保護者からの相談事への対応には		28	21	5	1	1
		50%	38%	9%	2%	2%
	その他	相談したことがないので不明。				
6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については		26	24	3	2	1
		46%	43%	5%	4%	2%
	その他					

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては		38	16	1	1	0
		68%	29%	2%	2%	0%
	その他					
7-2 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては		44	12	1	0	0
		77%	21%	2%	0%	0%
	その他					
7-3 アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については		25	16	1	1	9
		48%	31%	2%	2%	17%
	その他	アレルギーなしのため不明。アレルギー対応は今どこでも行われているので、特に評価はない。幸い今現在子どもが該当していないが、何かあれば相談に乗ってくださる体制と思います。				
7-4 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては		58	19	2	0	0
		73%	24%	3%	0%	0%
	その他					
7-5 意見や要望への対応については		25	24	5	1	1
		45%	43%	9%	2%	2%
	その他					

問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
総合満足度		33	20	2	1
		59%	36%	4%	2%

問9 保育園への意見・要望など

問1 保育園の保育目標・保育方針について

記入無

問2 入園する時の状況について

- ・ベテランの保育士がとても親切に聞いてくださった。
- ・なかなかピンとこないというか、意外と忙しいスケジュールだと思った。いろいろ遊びなどをやってくれてありがたい。
- ・不慣れな職員が目立ち、不安を感じた。

問3 保育や行事の年間計画について

- ・行事の後に必ずアンケート調査が行われる。概ね反映されていると思う。
- ・今年も急に遠足や運動会の日程が変わった。
- ・もう少し子どもの達成感や本気度がある真剣な指導をしてくれると良いと思っている。

問4. 1 日常の保育内容について【遊び】

- ・デイケア施設への訪問を子どもたち自身が楽しみしているのを感じる。
- ・自由に手に取れる本が少ない(乳児期はほぼなし)点、不満がある(週1回であるものの図書館で改善はされている)。
- ・天気の良い日ならなるべく外へ出てほしい。(園庭でもよいが)

問4. 2 日常の保育内容について【生活】

- ・食育がとてもよく、家の手伝いも進んでしてくれる。
- ・トイレに入ることすらできなかつたところから、根気よく助けてくださり、家でのアドバイスもいただいて外せるようになりまし
- ・きちんと見ていただいている部分は多い。だが、行き届いていないところも多い。

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

- ・良い雰囲気だと思います。保育士たちのお蔭だと思います。
- ・よく手入れされていると思います。
- ・暗証番号は設定されているが、セキュリティが不十分であると思う。簡単に入れられそう(不審者など)。

問6 園と保護者との連携・交流について

- ・子どものことで丁寧に対応していただいている。
- ・担任不在時はきちんと引き継がれている。
- ・毎日同じこと(元気に過ごしてました)なので、個人的な説明(その日に驚いたこと、心が動いた様子)は聞けない。

問7 職員の対応について

- ・いつも楽しそうに話をしてくれます。
- ・いつも前向きに対応して下さる。
- ・対応してもらえない気はないかもしれないので、要望もだしにくい。

保育園への意見や要望

- ・園長をはじめ、保育士方はとても子どもたちを大切にしてくれていて、どの保育士とも話しやすいです。まだまだ新しい園ですが、もっともっと良くなっていくと思います。
- ・コンビニと交差点がすぐそばの立地であぶないので、夕方にも門のところに守衛さんが立つべきだと思います。4:30～6:30頃だけで良いと思うのですが。朝は立ってくださってすごく安心します。
- ・園庭が広くないので、園内の活動が多くなってしまっているが、もっと外で遊ばせるよう工夫してほしい。とにかく走り回らせるだけでも良いので身体能力をあげるようにしてほしい。身体を動かすことを積極的にしている他の園の子どもと比べると明らかに身体能力差があります。

■ 保育園に通っている子どもについて(保育園に2人以上通っている場合は、下の子ども)

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
6	10	8	15	9	9
11%	18%	14%	26%	16%	16%

利用者本人調査の結果

調査の概況
<p>調査対象:2015年11月10,11日、登園の子どもを対象としました。 調査方法:聞き取り及び観察方式で実施しました。聞き取りは、3～5歳児のうちそれぞれ2人の子どもさんと面談して行いました。子どもさんから率直な意見や感想を聞くことができました。 観察は、2人の調査評価者が、それぞれクラスを訪問し、保育状況を観察しました。調査評価者の1人は、書店への外出に同行し、行く先での子どもの動きや表情を観察しました。</p>
保育の様子・こどもの様子等結果の特徴
0歳児組
<p>淡い色のフロアマットの上で遊んでいます。間仕切りは、牛乳パックを組み立てた保育士手作りのもので、ところどころに空窓があり、つかまり立ちをするのにちょうどよい高さです。散歩のとき拾ってきたドングリやビーズを入れたペットボトルの馬拉カスを、よちよち歩きながら思いっきり振って音を楽しんでいます。保育士は優しく見守っています。牛乳パックに通した紐を、保育士の「せ～の、ぴ～っ」という掛け声で引っ張りだしては戻し、引っ張り出しては戻すを繰り返し大喜びしている子どももいます。友達の遊んでいるおもちゃに興味を持ち、取ろうとして引っ張り合いになりました。保育士が、「○ちゃん、かしてって言おうね。△ちゃん、○ちゃんが使いたいんだって」と優しく声を掛けます。引っ張り合いが少し続きましたが、貸しての仕草をして、借りることができました。「○ちゃん、どうぞ」「△ちゃん、ありがとう」と保育士が添えた言葉を子どももまねていました。</p>
1歳児組 10時頃
<p>園庭で外遊びの時間です。玄関で、「靴履こうね」と促され、靴箱から自分の靴を出してきます。「できるよ、できるよ」「踵をもって～ほら、はいったね」などと声掛けされ、履けると嬉しそうな表情です。園庭に出て、卒園式に向けて球根を植えたプランターを保育士が「芽が出てるかな～」と観ると、子どもは自分のマークの付いた場所を、興味深そうに覗きこんでいます。何も見えないのに少しがっかりした様子に、「まだだね～、もう少し」と元気づけていました。笛に合わせて行進をし、その後芝生の敷かれた細長い園庭を思いっきり走ります。砂場では、砂を投げないなどの約束をまず確認して遊びます。さまざまな型やバケツに砂を入れてシャベルでポンポン叩いて固め、ひっくり返します。子どもが「おにぎり、たこやき」と声をあげます。トレーに乗せて「食事の用意ができました。」と保育士が声をかけると、子どもたちは食事の前の歌とご挨拶をします。保育士は、子どもの気持ちや言葉をうけとめ、応えたり、遊びのイメージを膨らませていました。</p>
2歳児組 12時頃
<p>訪問日の昼食メニューは、麦ごはん、鮭の西京焼き、もやしのごま酢和え、けんちん汁、麦茶でした。食事の前に、保育士が「○○ありますか。」と尋ねると、そのメニューを指差して手を挙げます。食育の一環として、初めてのメニューのときちゃんと説明され、その後毎回確認しているので、どの子も出される料理の名前が分かって、自信を持って応えます。「お魚」「ゴボウが入っている」など、食材にも関心を示しています。「あ、よくたべたね。」「ぴっかぴかまで、もう少しだね。」と、保育士に声を掛けられ、「もう少しでぴっかぴか」と言いながら、みんな完食しました。食べられる量は配慮されており、食べるのがゆっくりな子どももせかされることはありません。ごちそうさまをした後は、口拭をエプロンでくるくると巻き、お片付けをします。歯磨きは、自分でやった後、仕上げ磨きを保育士が優しい声掛けをしながらしていました。</p>
3歳児組
<p>部屋に入ると子どもたちが、魚釣りをしています。保育士がいろいろな魚、例えばオバキュウみみたいなものや大きな魚、小さな魚といろいろな魚を並べています。子どもたちは磁石のついた竿でその魚を釣っています。大きな魚を釣った時は、喜びを体中いっぱい表しています。またパズルをしている子どもがいます。パズルは小さな簡単なものから大きな複雑なものまであり、複雑なもので子どもが悪戦苦闘している時は保育士がタイミングよく「このような大きさと形は、これみたいな気がするけどなー」と言ったり、むずかしいパズルが完成した時は「よく頑張ったね！」とやってやる気を引き出していました。 静かに本を読んでいる子どももいます。特に園では絵本の貸し出し利用を実施しているため、絵本読みを楽しみにしている様子がみえます。</p>

4歳児組

近くの書店へ、子どもたちの散歩に同行しました。散歩途中、2人一組で手をしっかりつないで、楽しげに話していました。交差点では、先導の保育士が車の往来状況を確認し、後尾の保育士は子どもたちの列の遅れ具合を注意深く見守っていました。書店では、思い思いの本を眺めなら楽しく話し合い、書店の人からフーセンをもらって喜んでいました。部屋で、お手玉をしている子どもたちがいました。お手玉は保育士の手作りで、着物の生地を利用して制作した、大小いろいろな大きさのものがああります。子どもたちは手触りを楽しみながら、大きさの違うお手玉を順番を違え何度も重ねては崩して遊んでいました。

部屋に空気清浄機があり、部屋の乾燥に気を配っている様子ですが、唇が乾燥して職員にそのことを言ってくる子どもがいて、職員は「リップクリームを塗ってみてはどうですか」とやさしく話しかけていました。

5歳児組

毎朝1歳から5歳までの子ども全員が参加して「朝の会」を行っていました。担当の保育士と5歳の子ども2人がペアになって皆の前に立ち、その日の予定を伝えたり、全員で元気に歌をうたったり、体を動かしたりしていました。

部屋では、作品展の出し物を作っている子どもや二人仲良く動物将棋をしたり、2~3人集まってコマ遊びをしている子どもがいました。そして「ぬりえ」に夢中になっている子どもがいました。保育士にぬった絵を持って行って見てもらい、「こうしたらもっと良くなるかもしれないね」と言われている子や「なかなか良くできましたね」とほめられている子どももいて、子どものやる気につながっているようでした。

昼食を子どもたちは楽しみにしている様子で、出されたご飯、おかずをすばやく食べてしまう子どもや話に夢中になり、なかなかご飯が終わらない子どももいましたが、保育士はやさしく見守っていました。